



### 常磐論評

小名濱の名家として先代は日露會戦に勇奮し名譽の戦死を遂げた其名門も幾春秋かを経た今日、事業の失敗が經濟界の波にウマツク乗切れなかつたのか、先般競賣と云ふ氣の毒な境遇に出會したのである、いたりかしこしと競落したのは其町の悪ブローカ、目算では相當儲かる勘定であつたが、扱て買入を血眼になつて探しても全然買手がなかつた。小名濱の名門名家何れでも小名濱の爲めに存続させなければならぬ家、損とせなければならぬ出来ぬ。超然たる氣風を知らない悪ブローカ、假に外人より買手があつたとしても夫れは實狀が着さない迄に郷土癖が築き上つてゐる、人の災難に拍車を掛ける人ではない町民は一齊に某名家に同情を寄せてゐる。

世にも珍しき事業家の行者併行して餘りある篤行家が内郷村にある篤家は提灯持つのではないが、行者として其道の人々が崇敬し我々凡人にも對座すれば襟を正さしむるだけの靈力が電氣に掛つた様に感受せしむ其人こそは杉山炭礦を經營し更に有望な新坑迄も着炭したと云ふ一はしり事業家、事業界と精神界の平行を地で行く珍しき超人間である、彼れ杉山氏は本會御嶽山の行者として行者間にも畏敬され杉山氏の六根清淨は神代人の威がある年には三回の登山をなし心を淨め肉體を誠め延ては從業員に年一回は代表者を引具して登山することになつて居る、本年も来る三十日には約三十名の各部代表者を先達して行くとの事、旅費迄を大半を補助するとの噂なれば近世人には反省すべき暗示を與へて居る様なものである、事業家とか職業には信仰心などは禁物の様に考へられる現世に杉山氏の信仰と事業は平行出来る事を雄辯に吾人に訓づける感がある。

下記の様な案内状が來た奇寫な行爲である。  
謹啓者昨日に加はり候折柄貴家益々御多祥の段奉賀上候  
附者延寶五年海嘯の爲め男女八十有餘人、元祿九年六月廿七日の大暴風雨の災禍に依り二千四百五十餘人の死者に對し靈人塚の慰靈碑建設中の處今般竣功致候  
來る廿七日は二百四十年の祥月命日に付移轉に依る高山地蔵菩薩の入佛式並に慰靈碑の竣功式を行ひ併せて法要を営み申候に付當日午前十時西町千人塚迄御來臨御焼香願度御案内申上候也  
追て當日は現場に於て粗末なる供養を供し度準備致置候  
昭和十年七月廿三日  
發起人 長瀬金右衛門

### 磐城セメント特約代理店

良口廉賣に勝る商略なし

**久釜屋商店**

磐城 平町五丁目  
電話 九番九九番  
東京振替貯金口座一〇九五六番

三井生命保險株式會社 代理店  
大正火災保險株式會社  
**磐城水産工業株式會社**  
小名濱町築港内  
電話 一四四番

内科外科  
花柳病科  
小兒科  
**會田醫院**  
院長 會田 亮  
小名濱町上横町

江名町軌道會社向  
高級賣藥販賣  
**布袋屋百貨店**  
胃腸専門藥  
**健胃 麻茸散**  
定價 三十錢 五十錢

胸腹の痛み、さしこみ、胃弱、消化不良  
効能 嘔氣、曹嗽、食過ぎ、過飲、胃擴大、惡心  
胃加答兒、驅虫等に絶大なる特効あり

海水浴の御支度は  
高級化粧品  
洋品洋服  
美身用具  
**金成屋洋品店**  
小名濱町中島通り  
電話 一五三番

### 移轉御披露

弊店舊古港鹽屋隣に開店以來多大の御品負に預り現在にては在來の店舗にては狹隘を來し今回左記に移轉致し候條舊の御引立願度懇願申上候

米穀、薪、木炭  
味噌、醬油、和洋酒  
其他日用品一式

小名濱町古港黒木屋隣  
**三河屋食料品店**  
電話變更二十六番

親切 KS 第一  
船舶用電氣  
各種發電機  
各種蓄電池  
捲替修理  
各種電球  
販賣

磐城小名濱町  
スマヤ電氣部  
**ケーエス商會**  
店主 小濱敬太郎  
電話 一五九

竹細工一式  
諸籠製造販賣  
竹類販賣

**西山竹細工店**  
小名濱上横町  
白土鐵治屋向

神經系一般の新しい治療を致します

**脊柱調整院**  
小名濱西町  
院主 大 高 進

一般外科 (整形外科)  
内科 花柳病科

**草野醫院**  
小名濱町  
電話 一七三番



吳服類は  
**樋口吳服店**  
小名濱町中島通り

撞球場  
**波リヤド**  
小名濱町本橋  
隣イナゾア本橋町濱小